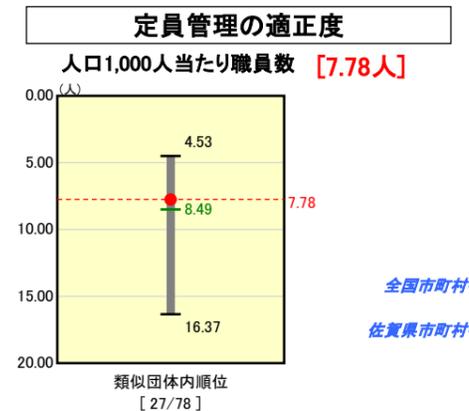
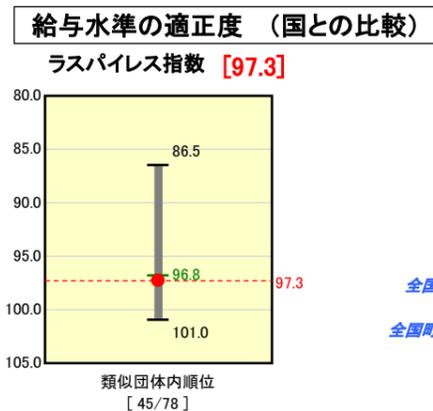
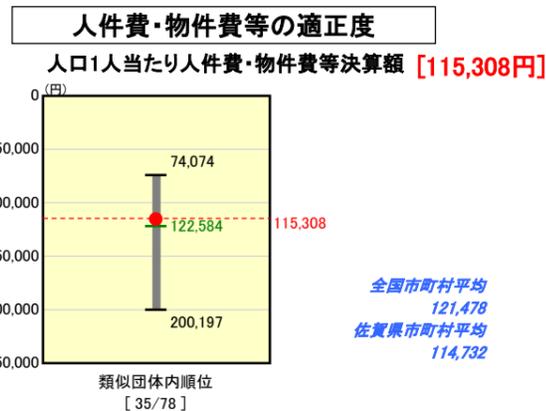
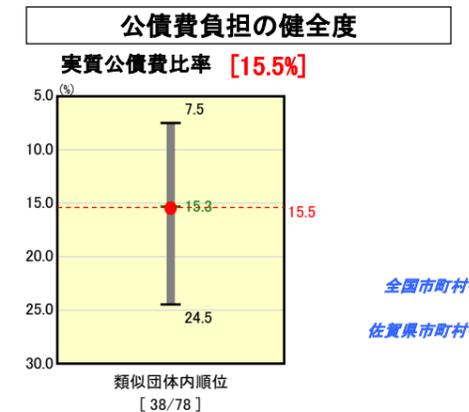
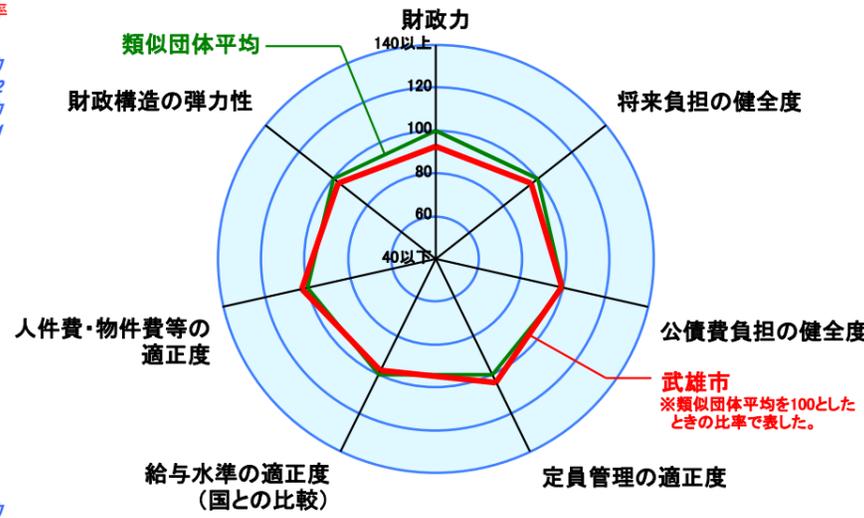
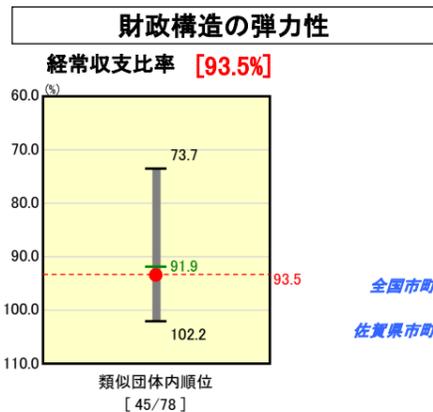
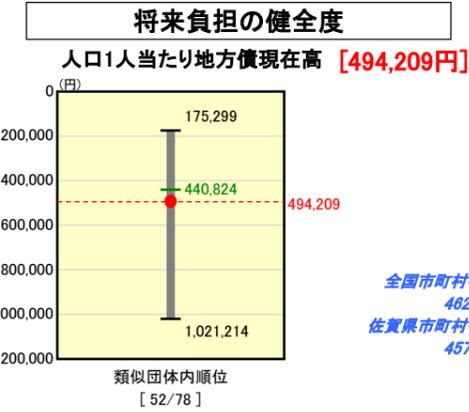
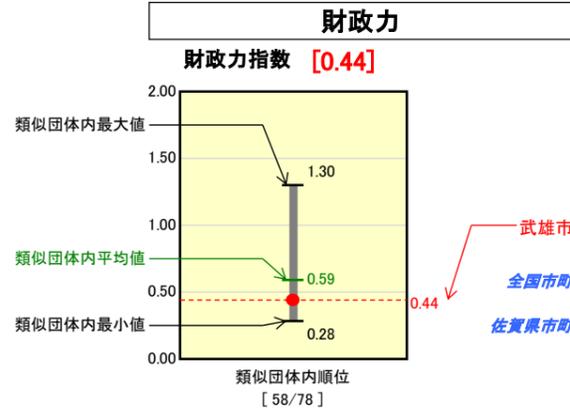


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

佐賀県 武雄市

| | | |
|------|------------|-----------------|
| 人口 | 52,546 | 人(H18.3.31現在) |
| 面積 | 195.44 | km ² |
| 歳入総額 | 21,004,098 | 千円 |
| 歳出総額 | 20,669,268 | 千円 |



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数: 類団平均、市町村平均を下回っているが、平成18年3月1日1市2町の合併により財政基盤の強化が図られたところである。今後は退職者不補充、保育所の民間委託等による職員数の削減による人件費の削減、地方税の徴収強化等の財政基盤強化に取組み改善を図る。

経常収支比率: 扶助費及び農業集落排水事業への繰入金の増等の要因により、93.5%と類団平均を上回っている。今後は「行政改革プラン」に基づく事務事業の見直し、人件費の削減に取組み、義務的経費の削減に努めるとともに自主財源の確保に努める。

人口一人当たり人件費・物件費等決算額: 類団平均を若干下回っているが、今後は施設運営の指定管理者制度導入によるコスト低減を図りより一層の改善を図る。

ラスパイレズ指数: 「行政改革プラン」に基づく職員定員管理計画により職員数の削減や給与制度の見直し、各種施設の指定管理制度の導入を図り人件費のより一層の適正化を図る。

実質公債費比率: 類団平均より0.2%の増となっているが、今後は農業集落排水事業や公共下水道事業などに伴う償還の影響により数値が増大することが見込まれるため、事業計画の整理縮小を図り、起債に大きく頼らない健全な財政運営に努める。

人口一人当たり地方債現在高: 全国平均や佐賀県平均、類団平均のいずれよりも高くなっており、財政硬直化の一因となっている。事業計画に基づき、適切な管理に努める。

人口1,000人当たり職員数: 人口千人当たり7.78人と類団平均より低い水準ではあるが、今後も職員定員管理計画により適切な人員配置に努め人員削減に努める。